

(様式3)

校種	①・中 どちらかに○	学校番号	32	学校名	宇都宮市立瑞穂野北小学校
----	---------------	------	----	-----	--------------

平成26年度 児童生徒指導に関する取組

1 児童生徒指導の主な実態

(1) 問題行動等調査から

- ・ ふざけが発展したトラブルは数回起こっているが、大きな問題には至っていない。暴力や仲間はずれ等のいじめは発生していない。
- ・ 不登校児童はいない。

(2) 学習と生活についてのアンケートから

- ・ 学校生活に満足している児童の割合は、市の平均を大きく上回っている。
- ・ 学校のきまりやマナーを守っている児童の割合は、市の平均より高いが、家庭差が見られる。
- ・ あいさつに関しては、家庭や校内においては学年差はあるものの、90～100%の児童が挨拶を行っている。
- ・ きまりやマナーに関しては、これを守ることが大切であることを意識する児童が多い。
- ・ 友達と一緒に過ごすことは楽しいと思っている児童の割合は、非常に高い。

(3) 学校生活の状況から

- ・ 明るく活動的で、素直な気持ちで学校生活を送っている。
- ・ 教室や廊下で、教職員や友だちに対して自らあいさつする児童がだいぶ増えてきている。来校者へのあいさつも多くなってきている。しかし、地域でのあいさつができていない様子である。児童同士の会話では呼び捨てにしたり言葉遣いが乱暴になったりしている。
- ・ 2～3世帯同居の家庭が多く、生活環境に恵まれ安定しており、朝食も家族と一緒に摂る児童が多い。
- ・ 自分の間違いに対して、素直に謝ることができなかつたり、友達の失敗に対して、心ない言動を取ってしまったたりしがちな児童がいる。
- ・ 忘れ物をしたり、自分の持ち物を管理できなかつたり、基本的な生活習慣の定着が十分でない児童が増えつつある。
- ・ 縦割り班活動では、上級生が、下級生の世話をよくし、助け合って活動している。
- ・ 指示されたことには素直に従い、取り組むことができるが、主体性に乏しい傾向が見られる。
- ・ 進んで働くことはできるが、困難なことや苦手なことに対しては、避けようとする傾向にある。

2 今年度の重点目標 (地域学校園内で共通する重点目標は、文頭に○または該当箇所を下線)

- ・ 自己をみつめ、集団生活においてそのよさを積極的に生かすことのできる児童の育成

3 今年度の取組 (地域学校園内で共通する取組は文頭に○、「学校教育スタンダード」に関する取組は文頭に☆)

(1) 基本的生活習慣の育成

- ☆ 「よい子の一日」を基本的生活の目安として児童に提示
- 地域学校園内で、生活の決まりの読み合わせを行い、発達段階に応じた指導を行っていく。
- ☆ 時と場に応じた元気な返事やあいさつ、会釈などができるように指導。
(児童によるポスター作り、あいさつ標語などの募集)
- 地域学校園合同のあいさつ運動の実施 (5月 12月)

(2) 自他のよさに気付き認め、尊重しあえる人間関係の醸成

- ・ 互いのよさを認め合い、児童一人一人の存在感が感じられるような学級経営
- ☆ Q-Uテストを生かした学級経営の展開、経営方針の再検討と対策 (6月)
- ・ 一人一人のよさを発見する手立てと工夫 (あしあとの活用)
- ・ 縦割り班活動を生かした給食や清掃、学校行事等の児童の自治的な活動の推進
- ・ 「ふれあいタイム」を活用した地域の人々との交流や勤労・奉仕的活動の充実

(3) 豊かな心をもち、自主的に判断し行動できる児童の育成

- ・ 生活科や総合的な学習の時間等における体験的な活動の実施
 - ☆ 生命尊重やいじめを題材とした授業等の実施（7月の授業参観，11月のオープンスクール等）といじめゼロ集会の実施（9月）
 - ・ 道徳の時間においては，児童の心をゆさぶるような感動教材や身近な資料，ねらいの明確化による発問の精選などにより，心に響きよく考える授業展開の工夫をしていく。
 - ・ 地域行事等への児童の積極的な参加の推進
 - ・ グループ学習や習熟度別学習等，分かる喜びや存在感，成就感が味わえるような学習指導の工夫と改善
 - ・ 朝の読書の工夫と改善や司書等による読み聞かせやブックトークなどの活動
- （4）児童理解の充実
- ・ 児童指導事例研究会を実施（5月）
 - ・ 児童の日常の行動観察記録の累積「あしあと」
 - ・ 児童指導に関する全職員の情報交換（職員会議のあと実施）
 - ☆ 校内児童指導対策委員会を基盤にした不登校やいじめ等の問題の早期発見と対処
 - ・ 学校だよりや学年だより，ホームページ等を活用した家庭や地域社会への情報の提供
 - ☆ 「おしゃべりポスト」の活用と，教育相談月間（6月，12月）の実施
 - ☆ 学校生活における実態調査の実施（5月，10月）
 - ☆ 人権教育研修会の実施（10月）